

# CHUO CITY

## 第48回

# 中央区政世論調査



概要版

平成30年5月実施

【調査の項目】

- |            |                            |
|------------|----------------------------|
| 1 定住性      | 8 スポーツ                     |
| 2 防災対策     | 9 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会 |
| 3 健康診査     | 10 築地魚河岸                   |
| 4 高齢者施策    | 11 広報                      |
| 5 子育て支援    | 12 緑・公園                    |
| 6 男女共同参画社会 | 13 施策の要望・評価                |
| 7 防犯対策     |                            |

【調査対象】中央区に居住する満18歳以上の男女個人（外国人区民を除く）

【対象者】2,000人

【抽出方法】無作為抽出法

平成30年4月1日現在の住民基本台帳に登録された  
満18歳以上の男女129,416人から一定の割合で系統的に抽出

【調査方法】郵送法（郵送に準じた配布 - 郵送回収）

【調査時期】平成30年5月11日（金）～5月28日（月）

【調査機関】株式会社エスピー研

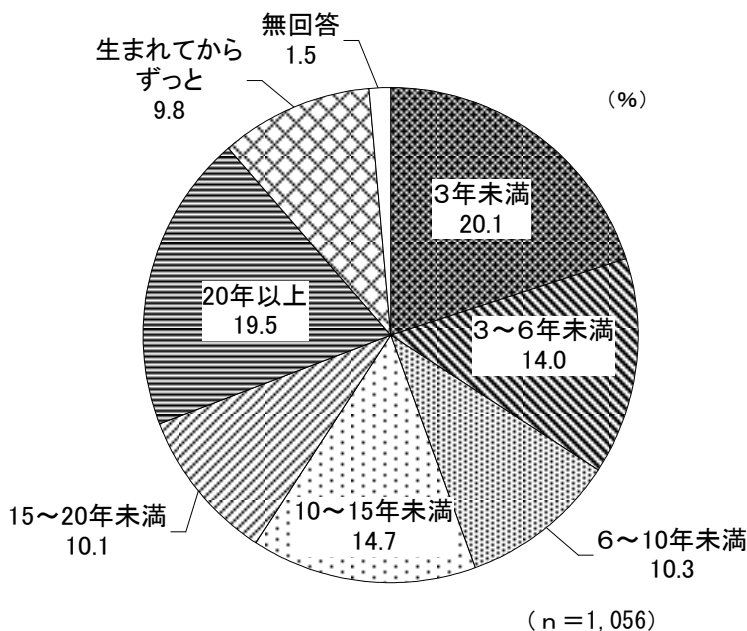
【回収結果】回収数 1,056 回収率 52.8%

# 1 定住性

## ■ 居住年数

『短期居住者』（「3年未満」と「3～6年未満」の合計）は 34.1%で3割台半ばとなっている。『中期居住者』（「6～10年未満」、「10～15年未満」および「15～20年未満」の3つの合計）は 35.1%で3割台半ば、『長期居住者』（「20年以上」と「生まれてからずっと」の合計）は 29.3%で約3割となっている。

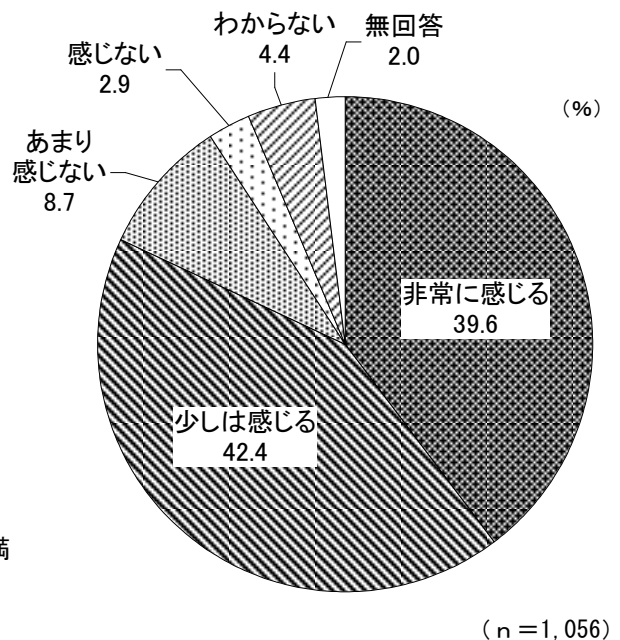
過去の調査結果と比較すると、平成 26 年以降大きな傾向の違いはみられない。



## ■ 愛着心

『感じる』（「非常に感じる」と「少しは感じる」の合計）は 82.0%で8割を超えている。一方、『感じない』（「あまり感じない」と「感じない」の合計）は 11.6%で1割を超えている。

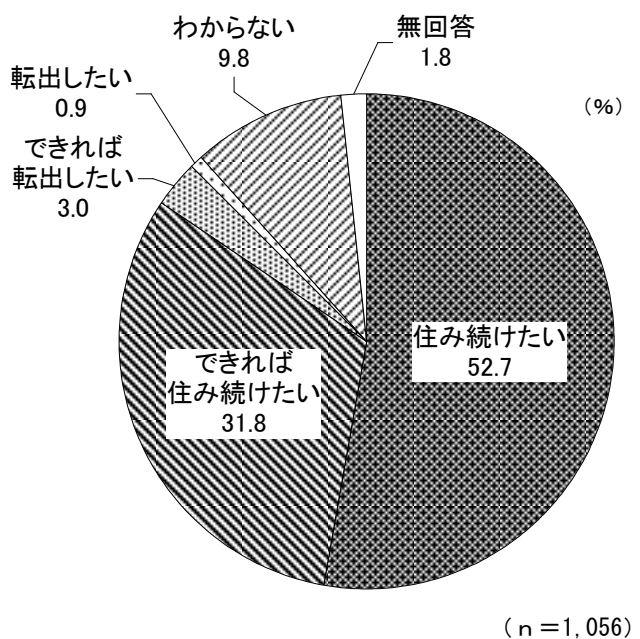
過去の調査結果と比較すると、『感じる』は平成 18 年以降8割台で推移している。



## ■ 定住意向

『定住意向』（「住み続けたい」と「できれば住み続けたい」の合計）は 84.5%で8割台半ばとなっている。一方、『転出意向』（「できれば転出したい」と「転出したい」の合計）は 3.9%にとどまっている。

過去の調査結果と比較すると、平成 23 年以降大きな傾向の違いはみられない。

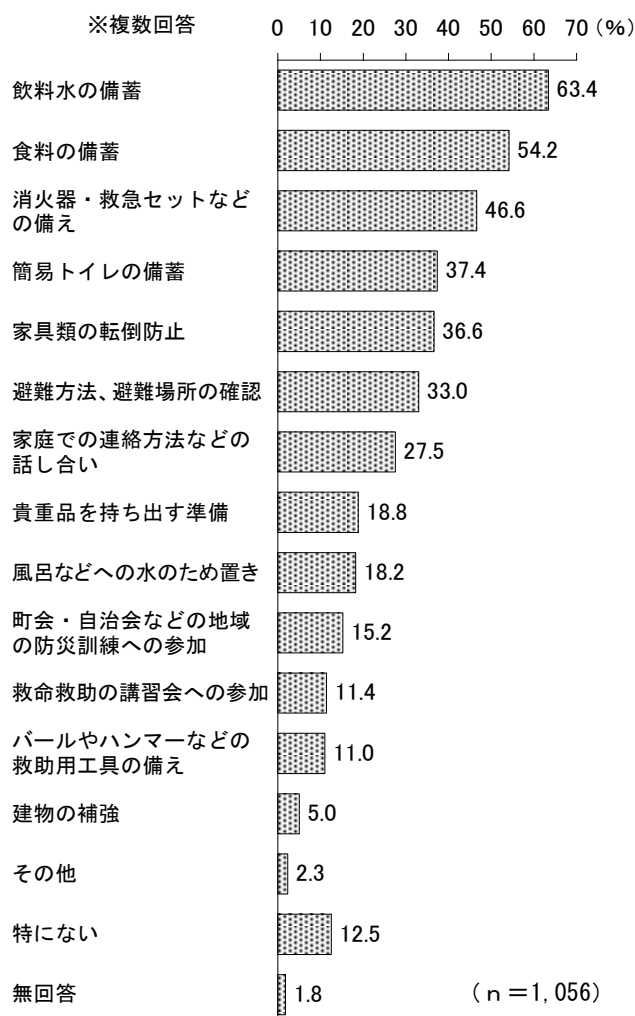


## 2 防災対策

### ■家庭での災害に対する備え

「飲料水の備蓄」(63.4%)が6割を超えて最も高くなっている。次いで、「食料の備蓄」(54.2%)、「消火器・救急セットなどの備え」(46.6%)、「簡易トイレの備蓄」(37.4%)、「家具類の転倒防止」(36.6%)、「避難方法、避難場所の確認」(33.0%)などとなっている。

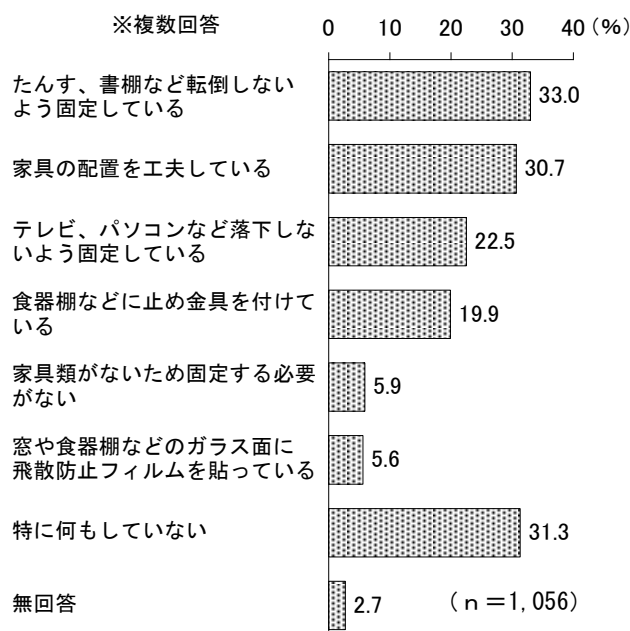
昨年の調査結果と比較すると、「食料の備蓄」は3.8ポイント、「家庭での連絡方法などの話し合い」は3.4ポイント、それぞれ減少している。



### ■家具の転倒、ガラスの飛散などに対する備え

「たんす、書棚など転倒しないよう固定している」(33.0%)が3割を超えている。次いで、「家具の配置を工夫している」(30.7%)、「テレビ、パソコンなど落下しないよう固定している」(22.5%)、「食器棚などに止め金具を付けている」(19.9%)などとなっている。また、「特に何もしていない」(31.3%)は3割を超えている。

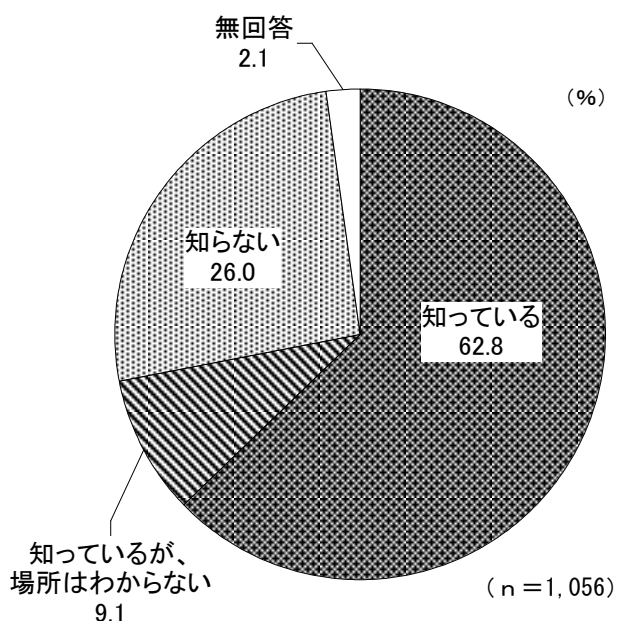
昨年の調査結果と比較すると、「家具類がないため固定する必要がない」は2.3ポイント増加している。一方、「窓や食器棚などのガラス面に飛散防止フィルムを貼っている」は2.3ポイント減少している。



## ■防災拠点の認知度

「知っている」(62.8%)が6割を超えて高くなっている。「知っているが、場所はわからない」(9.1%)は約1割で、「知らない」(26.0%)は2割台半ばとなっている。

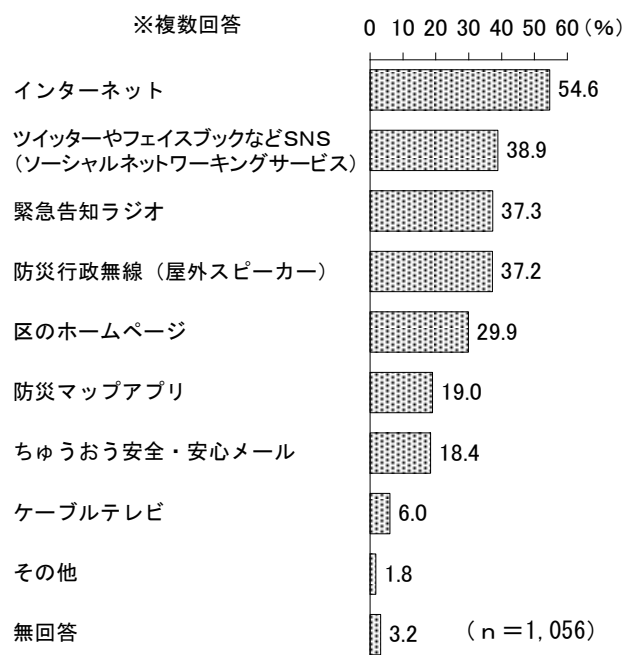
過去の調査結果と比較すると、「知っている」は平成28年以降6割台で推移している。



## ■災害情報を得る手段として有効だと思うもの

「インターネット」(54.6%)が5割台半ばで最も高くなっている。次いで、「ツイッターやフェイスブックなどSNS(ソーシャルネットワーキングサービス)」(38.9%)、「緊急告知ラジオ」(37.3%)、「防災行政無線(屋外スピーカー)」(37.2%)、「区のホームページ」(29.9%)などとなっている。

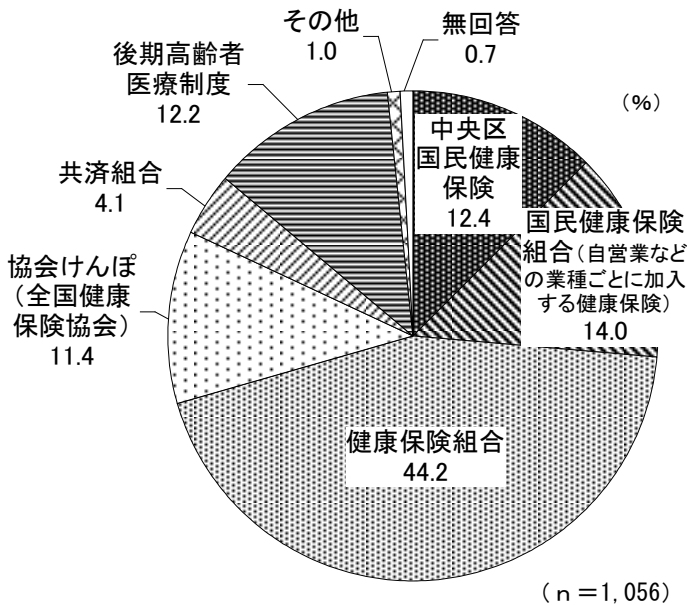
昨年の調査結果と比較すると、「緊急告知ラジオ」は4.7ポイント減少している。



### 3 健康診査

#### ■ 加入している健康保険

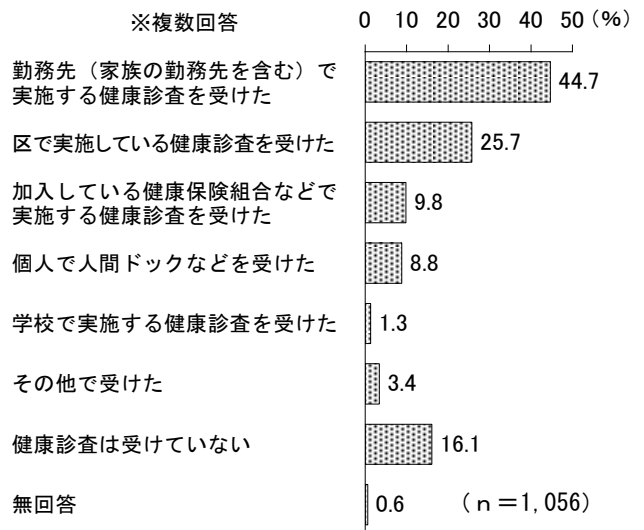
「健康保険組合」(44.2%)が4割台半ばで最も高くなっている。次いで、「国民健康保険組合(自営業などの業種ごとに加入する健康保険)」(14.0%)、「中央区国民健康保険」(12.4%)、「後期高齢者医療制度」(12.2%)、「協会けんぽ(全国健康保険協会)」(11.4%)などとなっている。



#### ■ 健康診査の受診状況

「勤務先(家族の勤務先を含む)で実施する健康診査を受けた」(44.7%)が4割台半ばで最も高くなっている。次いで、「区で実施している健康診査を受けた」(25.7%)、「加入している健康保険組合などで実施する健康診査を受けた」(9.8%)、「個人で人間ドックなどを受けた」(8.8%)などとなっている。また、「健康診査は受けていない」(16.1%)は1割台半ばとなっている。

昨年の調査結果と比較すると、「勤務先(家族の勤務先を含む)で実施する健康診査を受けた」は1.8ポイント増加している。一方、「健康診査は受けていない」は1.7ポイント減少している。

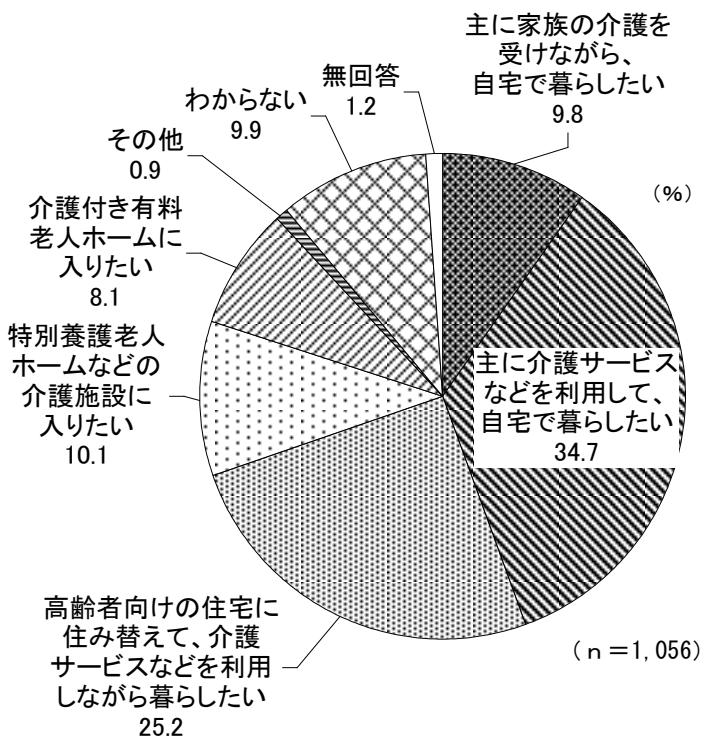


# 4 高齢者施策

## ■要介護時における暮らし方

「主に介護サービスなどを利用して、自宅で暮らしたい」(34.7%)が3割台半ばで最も高くなっている。次いで、「高齢者向けの住宅に住み替えて、介護サービスなどを利用しながら暮らしたい」(25.2%)、「特別養護老人ホームなどの介護施設に入りたい」(10.1%)、「主に家族の介護を受けながら、自宅で暮らしたい」(9.8%)などとなっている。

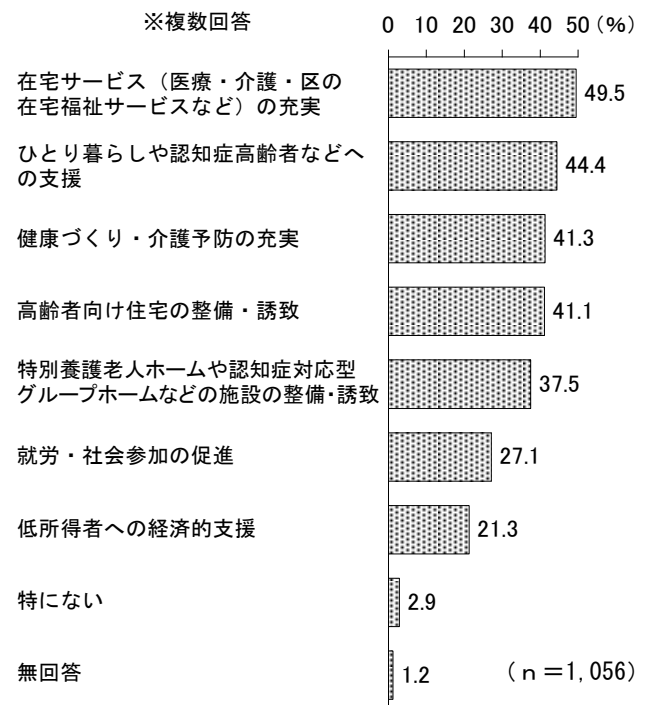
昨年の調査結果と比較すると、「高齢者向けの住宅に住み替えて、介護サービスなどを利用しながら暮らしたい」は3.3ポイント増加している。



## ■区に望む高齢者保健福祉サービス

「在宅サービス(医療・介護・区の在宅福祉サービスなど)の充実」(49.5%)が5割で最も高くなっている。次いで、「ひとり暮らしや認知症高齢者などへの支援」(44.4%)、「健康づくり・介護予防の充実」(41.3%)、「高齢者向け住宅の整備・誘致」(41.1%)、「特別養護老人ホームや認知症対応型グループホームなどの施設の整備・誘致」(37.5%)などとなっている。

昨年の調査結果と比較すると、「健康づくり・介護予防の充実」は6.3ポイント、「高齢者向け住宅の整備・誘致」は4.2ポイント、それぞれ増加している。一方、「在宅サービス(医療・介護・区の在宅福祉サービスなど)の充実」は5.0ポイント減少している。

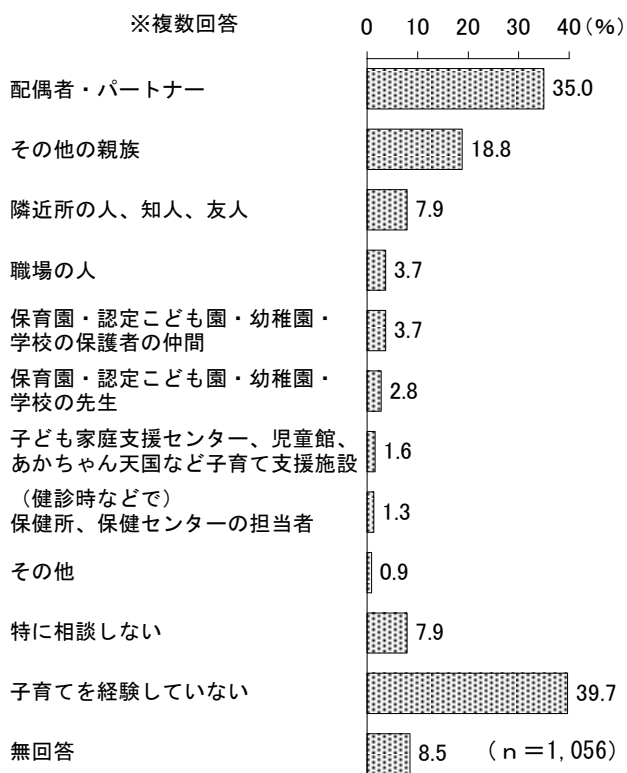


## 5 子育て支援

### ■ 子育てに関する悩みの相談

「配偶者・パートナー」(35.0%)が3割台半ばで最も高くなっている。次いで、「その他の親族」(18.8%)、「隣近所の人、知人、友人」(7.9%)、「職場の人」(3.7%)、「保育園・認定こども園・幼稚園・学校の保護者の仲間」(3.7%)などとなっている。

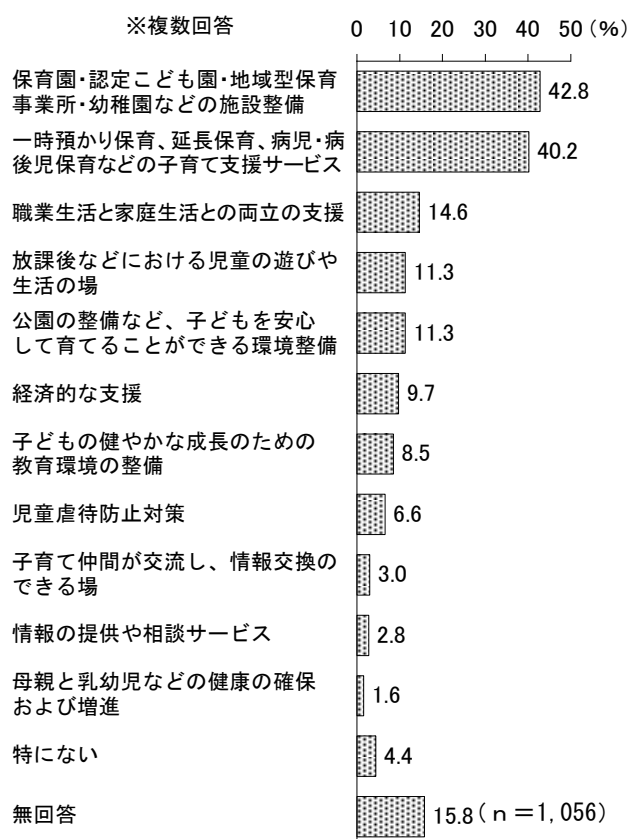
昨年の調査結果と比較すると、大きな傾向の違いはみられない。



### ■ 重要と考える子育て支援策

「保育園・認定こども園・地域型保育事業所・幼稚園などの施設整備」(42.8%)が4割を超えて最も高くなっている。次いで、「一時預かり保育、延長保育、病児・病後児保育などの子育て支援サービス」(40.2%)、「職業生活と家庭生活との両立の支援」(14.6%)、「放課後などにおける児童の遊びや生活の場」(11.3%)、「公園の整備など、子どもを安心して育てることができる環境整備」(11.3%)などとなっている。

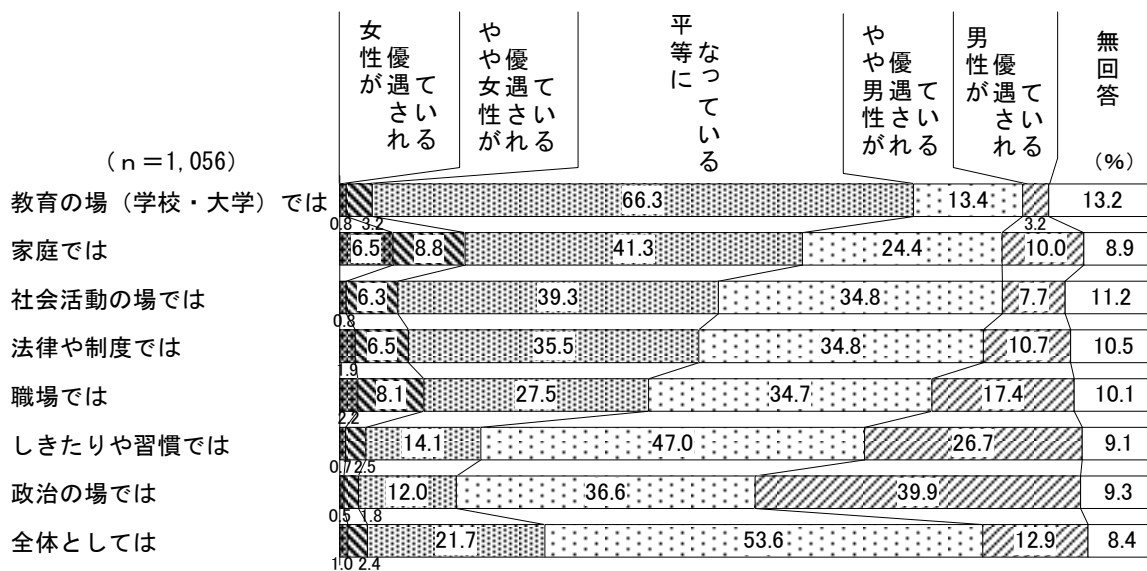
昨年の調査結果と比較すると、「一時預かり保育、延長保育、病児・病後児保育などの子育て支援サービス」は3.8ポイント増加している。



# 6 男女共同参画社会

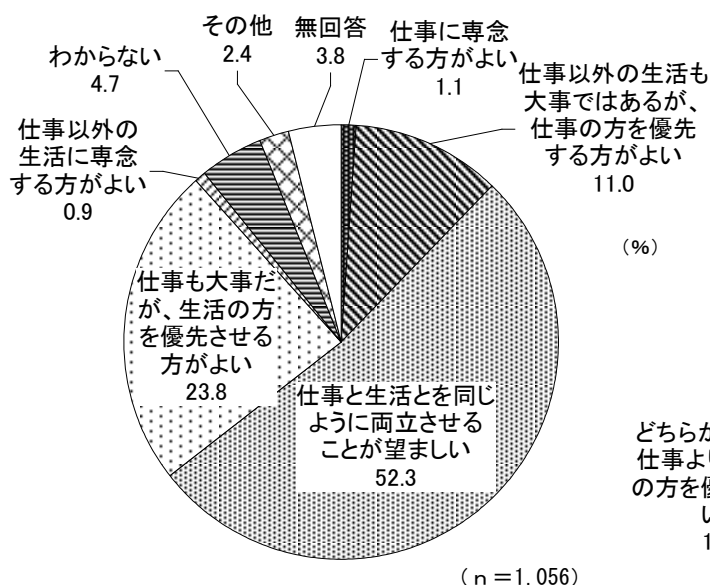
## ■男女の地位の平等感

「平等になっている」と感じるのは、“教育の場（学校・大学）では”（66.3%）で6割台半ばと最も高く、次いで“家庭では”（41.3%）で4割を超えている。「やや男性が優遇されている」と「男性が優遇されている」を合わせた『男性が優遇されている』と感じるのは、“政治の場では”（76.5%）で8割近くと最も高く、次いで“しきたりや習慣では”（73.7%）で7割を超えている。



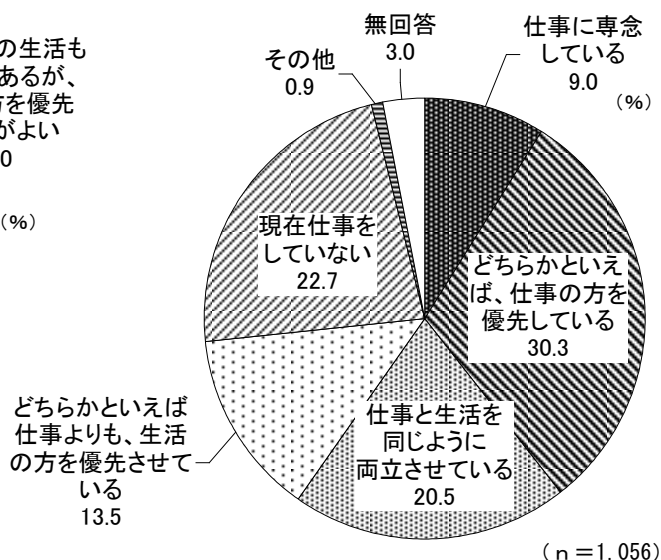
## ■ワーク・ライフ・バランスについての考え方

「仕事と生活を同じように両立させることが望ましい」（52.3%）が5割を超えて最も高くなっている。次いで、「仕事も大事だが、生活の方を優先させる方がよい」（23.8%）、「仕事以外の生活も大事ではあるが、仕事の方を優先する方がよい」（11.0%）などとなっている。



## ■望ましい位置づけに対しての現在の状況

「どちらかといえば、仕事の方を優先している」（30.3%）が3割で最も高くなっている。次いで、「現在仕事をしていない」（22.7%）、「仕事と生活を同じように両立させている」（20.5%）、「どちらかといえば仕事よりも、生活の方を優先させている」（13.5%）、「仕事に専念している」（9.0%）などとなっている。



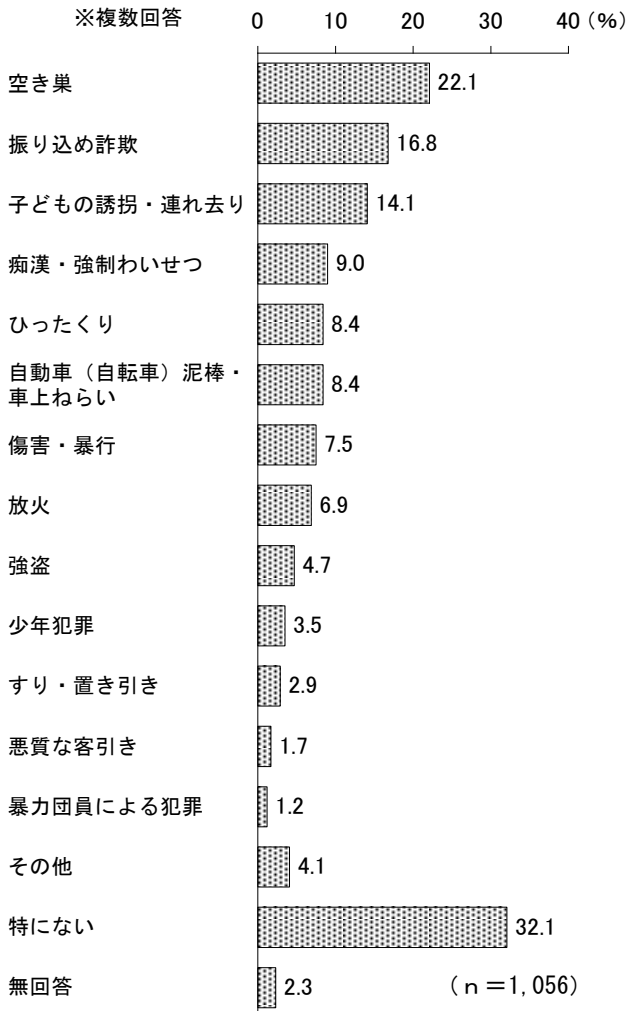


# 7 防犯対策

## ■不安に感じる犯罪

「空き巣」(22.1%)が2割を超えて最も高くなっている。次いで、「振り込め詐欺」(16.8%)、「子どもの誘拐・連れ去り」(14.1%)、「痴漢・強制わいせつ」(9.0%)、「ひったくり」(8.4%)、「自動車(自転車)泥棒・車上ねらい」(8.4%)などとなっている。また、「特にない」(32.1%)は3割を超えている。

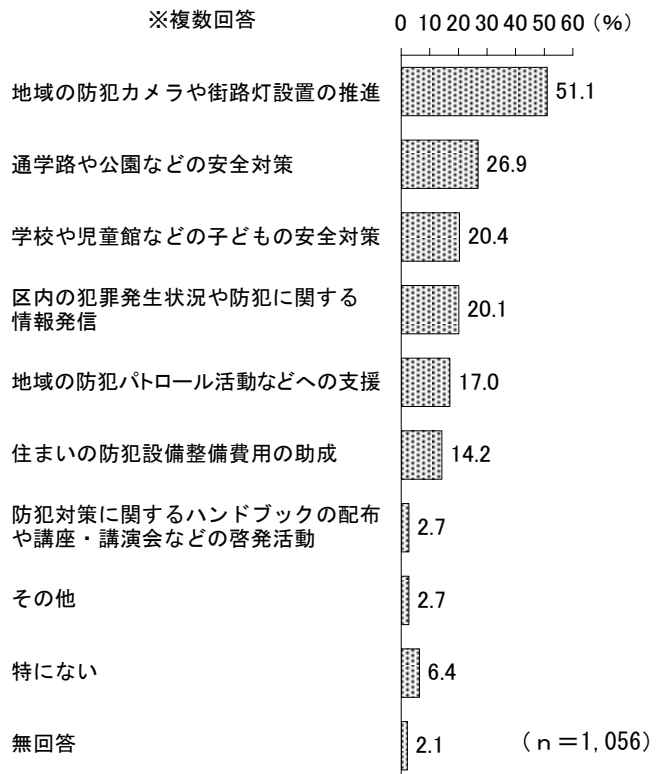
昨年の調査結果と比較すると、「振り込め詐欺」は3.2ポイント増加している。



## ■区に特に力を入れてほしい施策

「地域の防犯カメラや街路灯設置の推進」(51.1%)が5割を超えて最も高くなっている。次いで、「通学路や公園などの安全対策」(26.9%)、「学校や児童館などの子どもの安全対策」(20.4%)、「区内の犯罪発生状況や防犯に関する情報発信」(20.1%)、「地域の防犯パトロール活動などへの支援」(17.0%)などとなっている。

昨年の調査結果と比較すると、「地域の防犯カメラや街路灯設置の推進」は4.0ポイント増加している。一方、「区内の犯罪発生状況や防犯に関する情報発信」は4.0ポイント減少している。

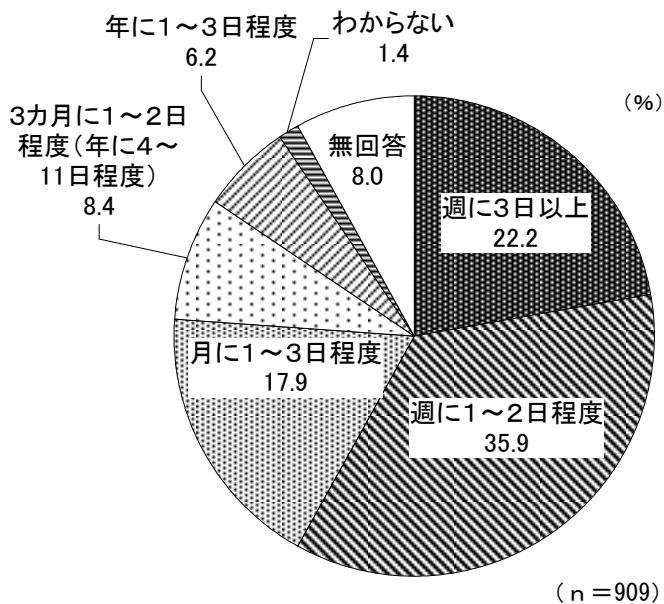


## 8 スポーツ

### ■過去1年間に行ったスポーツや運動の頻度

過去1年間にいずれかのスポーツや運動をしたことがあると回答した方のスポーツや運動の頻度は、「週に1～2日程度」(35.9%)が3割台半ばで最も高くなっている。次いで、「週に3日以上」(22.2%)、「月に1～3日程度」(17.9%)、「3カ月に1～2日程度(年に4～11日程度)」(8.4%)などとなっている。

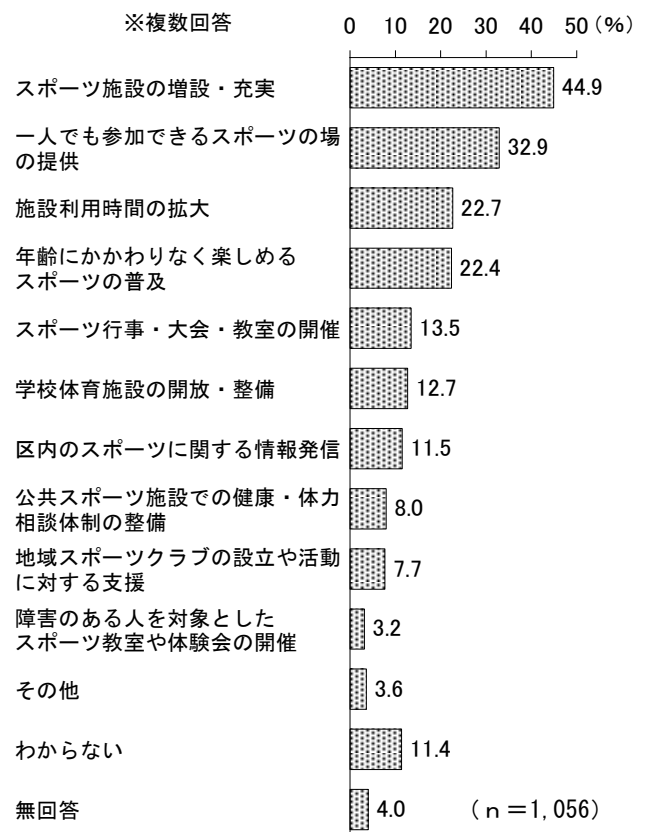
昨年の調査結果と比較すると、「月に1～3日程度」は3.7ポイント減少している。



### ■スポーツへの参加機会を増やすために区に望むこと

「スポーツ施設の増設・充実」(44.9%)が4割台半ばで最も高くなっている。次いで、「一人でも参加できるスポーツの場の提供」(32.9%)、「施設利用時間の拡大」(22.7%)、「年齢にかかわらず楽しめるスポーツの普及」(22.4%)、「スポーツ行事・大会・教室の開催」(13.5%)などとなっている。

昨年の調査結果と比較すると、「スポーツ施設の増設・充実」は2.5ポイント増加している。一方、「学校体育施設の開放・整備」は2.3ポイント減少している。

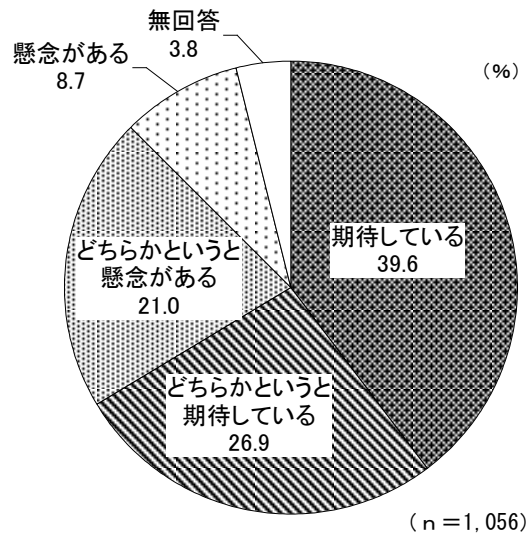


# 9 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会

## ■東京2020大会への思い

『大会への期待』（「期待している」と「どちらか」というと期待している）の合計は66.5%で7割近くとなっている。一方、『大会への懸念』（「どちらか」というと懸念がある」と「懸念がある」の合計）は29.7%で3割となっている。

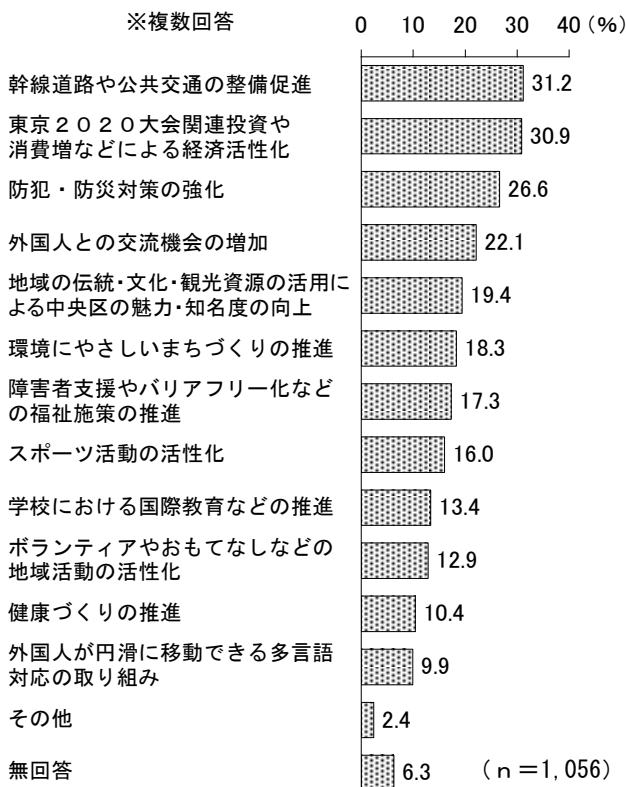
昨年の調査結果と比較すると、大きな傾向の違いはみられない。



## ■東京2020大会の開催に伴い期待していること

「幹線道路や公共交通の整備促進」(31.2%)が3割を超えて最も高くなっている。次いで、「東京2020大会関連投資や消費増などによる経済活性化」(30.9%)、「防犯・防災対策の強化」(26.6%)、「外国人との交流機会の増加」(22.1%)などとなっている。

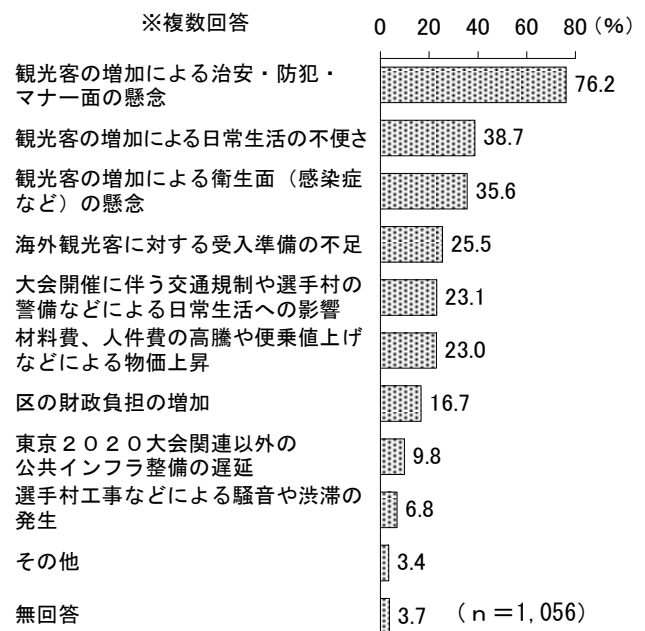
昨年の調査結果と比較すると、「東京2020大会関連投資や消費増などによる経済活性化」は4.3ポイント増加している。



## ■東京2020大会の開催に伴い懸念していること

「観光客の増加による治安・防犯・マナー面の懸念」(76.2%)が7割台半ばで最も高くなっている。次いで、「観光客の増加による日常生活の不便さ」(38.7%)、「観光客の増加による衛生面（感染症など）の懸念」(35.6%)などとなっている。

昨年の調査結果と比較すると、「観光客の増加による日常生活の不便さ」は9.8ポイント、「観光客の増加による衛生面（感染症など）の懸念」は8.5ポイント、それぞれ増加している。一方、「区の財政負担の増加」は9.8ポイント、「材料費、人件費の高騰や便乗値上げなどによる物価上昇」は5.9ポイント、それぞれ減少している。

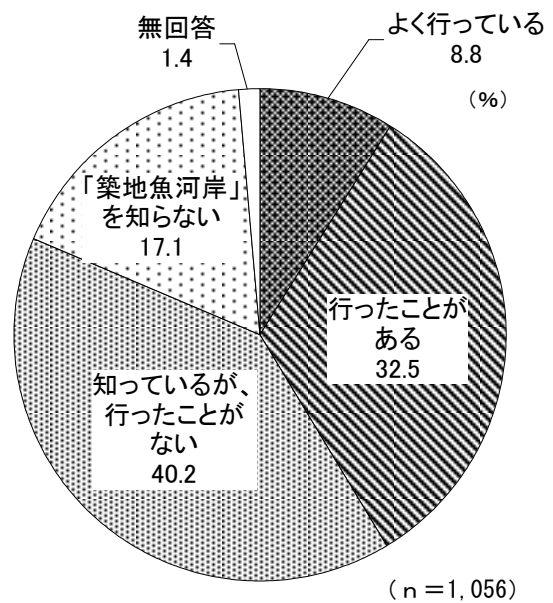


# 10 築地魚河岸

## ■ 「築地魚河岸」への来場経験

『来場経験あり』（「よく行っている」と「行ったことがある」の合計）は41.3%で4割を超えている。一方、「知っているが、行ったことがない」は40.2%で4割、「『築地魚河岸』を知らない」は17.1%で2割近くとなっている。

昨年の調査結果と比較すると、『来場経験あり』は9.6ポイント増加している。

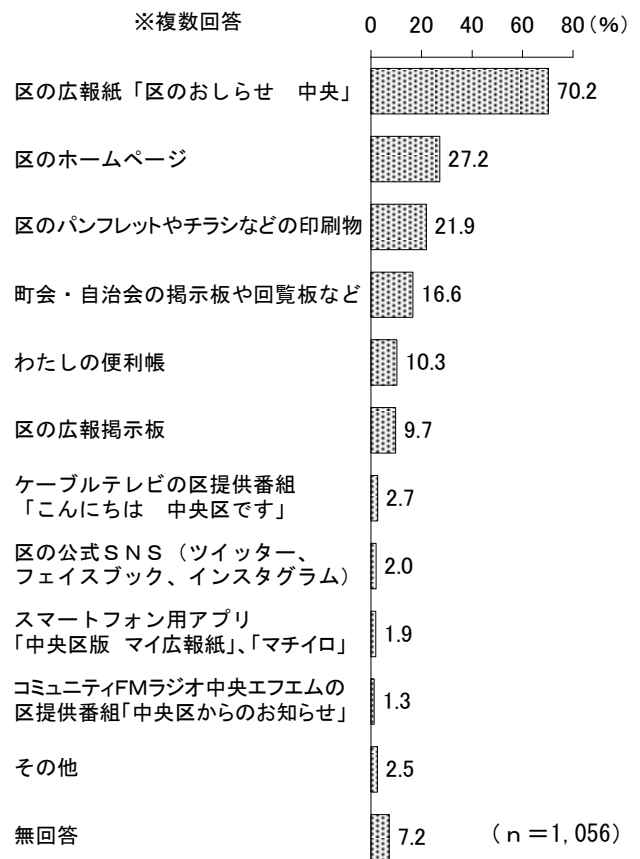


# 11 広報

## ■ 区政情報を得る手段

「区の広報紙『区のおしらせ 中央』（70.2%）が7割で最も高くなっている。次いで、「区のホームページ」（27.2%）、「区のパンフレットやチラシなどの印刷物」（21.9%）、「町会・自治会の掲示板や回覧板など」（16.6%）、「わたしの便利帳」（10.3%）などとなっている。

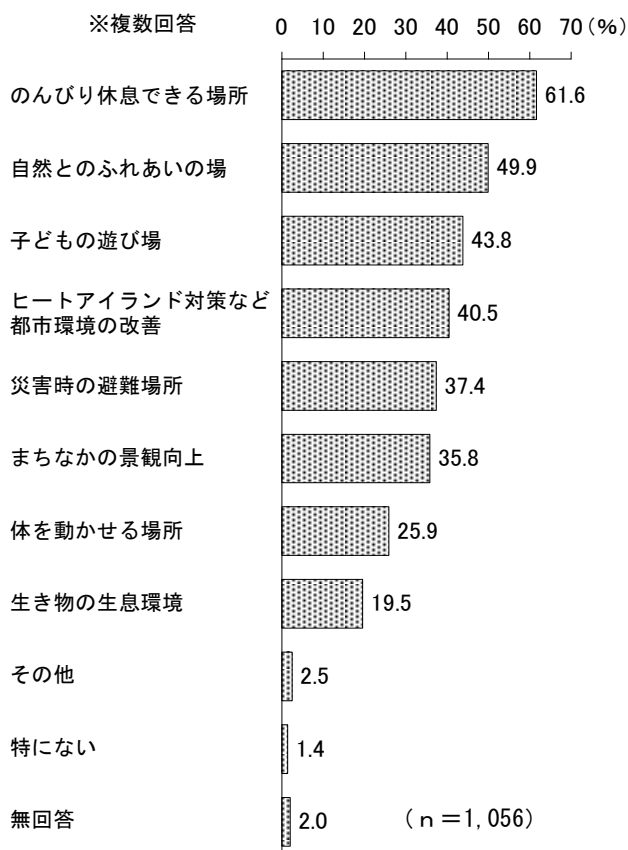
過去の調査結果と比較すると、「区の広報紙『区のおしらせ 中央』」、「町会・自治会の掲示板や回覧板など」、「わたしの便利帳」および「区の広報掲示板」はそれぞれ減少傾向にある。



# 12 緑・公園

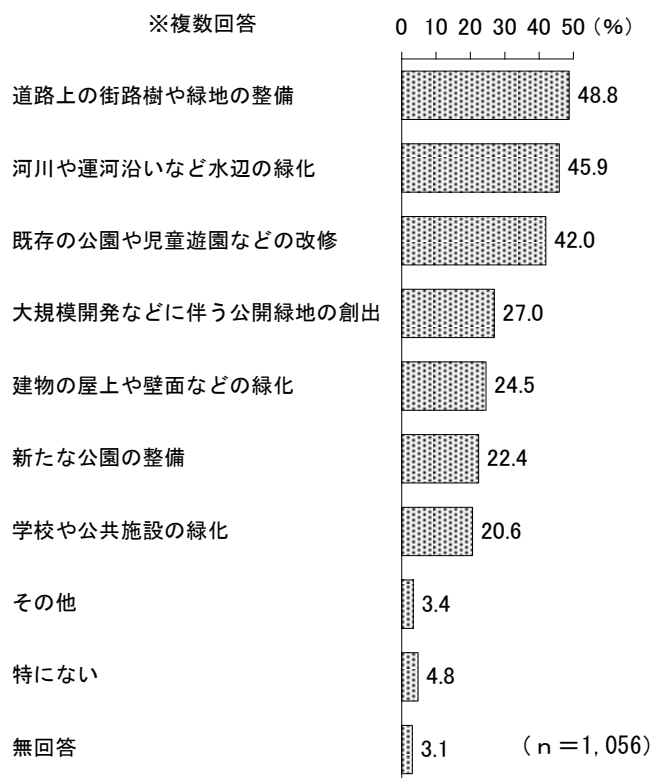
## ■公園や緑に望む役割

「のんびり休息できる場所」(61.6%)が6割を超えて最も高くなっている。次いで、「自然とのふれあいの場」(49.9%)、「子どもの遊び場」(43.8%)、「ヒートアイランド対策など都市環境の改善」(40.5%)、「災害時の避難場所」(37.4%)などとなっている。



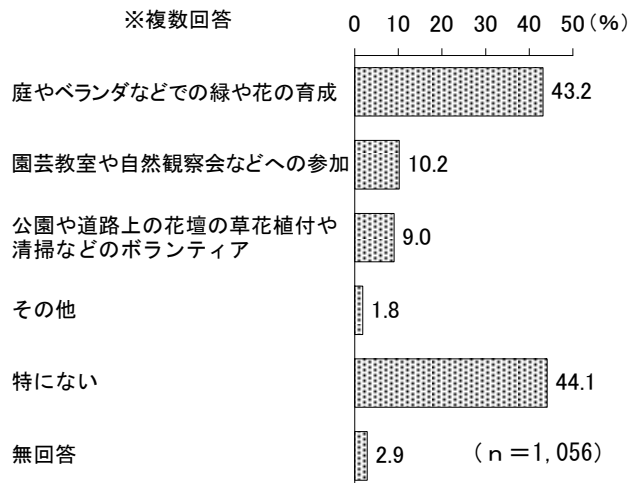
## ■区に望む緑のまちづくり

「道路上の街路樹や緑地の整備」(48.8%)が5割近くで最も高くなっている。次いで、「河川や運河沿いなど水辺の緑化」(45.9%)、「既存の公園や児童遊園などの改修」(42.0%)、「大規模開発などに伴う公開緑地の創出」(27.0%)、「建物の屋上や壁面などの緑化」(24.5%)などとなっている。



## ■緑に関し行っていることや興味

「庭やベランダなどでの緑や花の育成」(43.2%)が4割を超えて最も高くなっている。次いで、「園芸教室や自然観察会などへの参加」(10.2%)、「公園や道路上の花壇の草花植付や清掃などのボランティア」(9.0%)などとなっている。

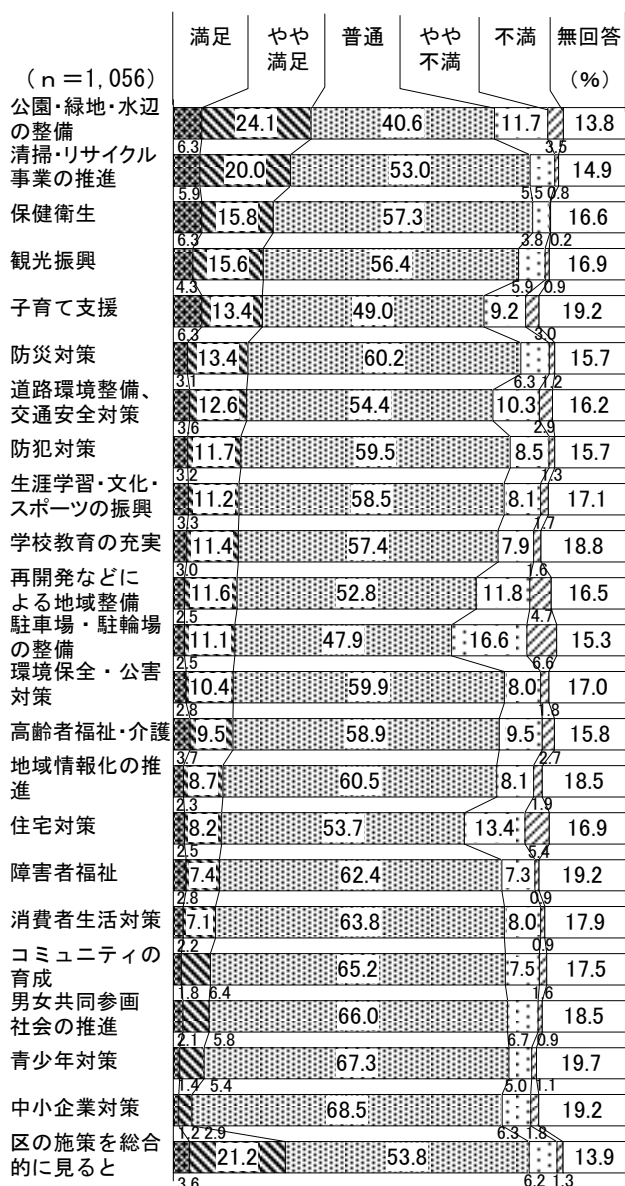


# 13 施策の要望・評価

## ■ 区の施策の満足度

「満足」と「やや満足」の合計を『満足』とし、「やや不満」と「不満」の合計を『不満足』とした場合の、それぞれの上位5項目は次のようになっている。

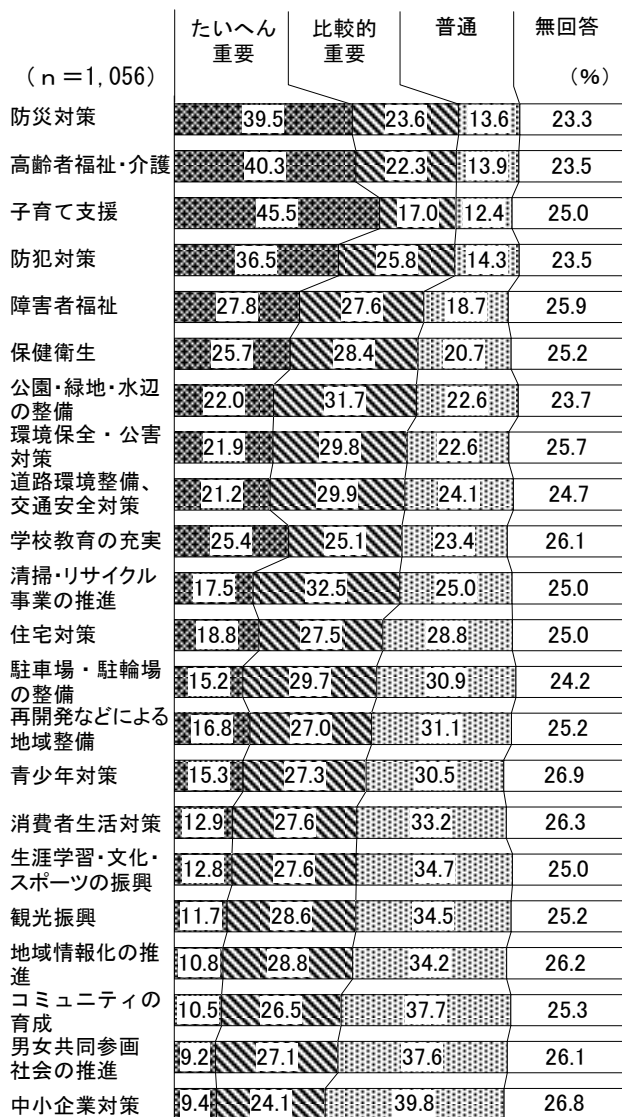
- 『満足』 ①公園・緑地・水辺の整備 (30.4%)  
 ②清掃・リサイクル事業の推進 (25.9%)  
 ③保健衛生 (22.1%)  
 ④観光振興 (19.9%)  
 ⑤子育て支援 (19.7%)
- 『不満足』 ①駐車場・駐輪場の整備 (23.2%)  
 ②住宅対策 (18.8%)  
 ③再開発などによる地域整備 (16.5%)  
 ④公園・緑地・水辺の整備 (15.2%)  
 ⑤道路環境整備、交通安全対策 (13.2%)



## ■ 区の施策の重要度

「たいへん重要」と「比較的重要」の合計を『重要』とした場合の、上位5項目と下位5項目は次のようになっている。

- 上位 ①防災対策 (63.1%)  
 ②高齢者福祉・介護 (62.6%)  
 ③子育て支援 (62.5%)  
 ④防犯対策 (62.3%)  
 ⑤障害者福祉 (55.4%)
- 下位 ①中小企業対策 (33.5%)  
 ②男女共同参画社会の推進 (36.3%)  
 ③コミュニティの育成 (37.0%)  
 ④地域情報化の推進 (39.6%)  
 ⑤観光振興 (40.3%)



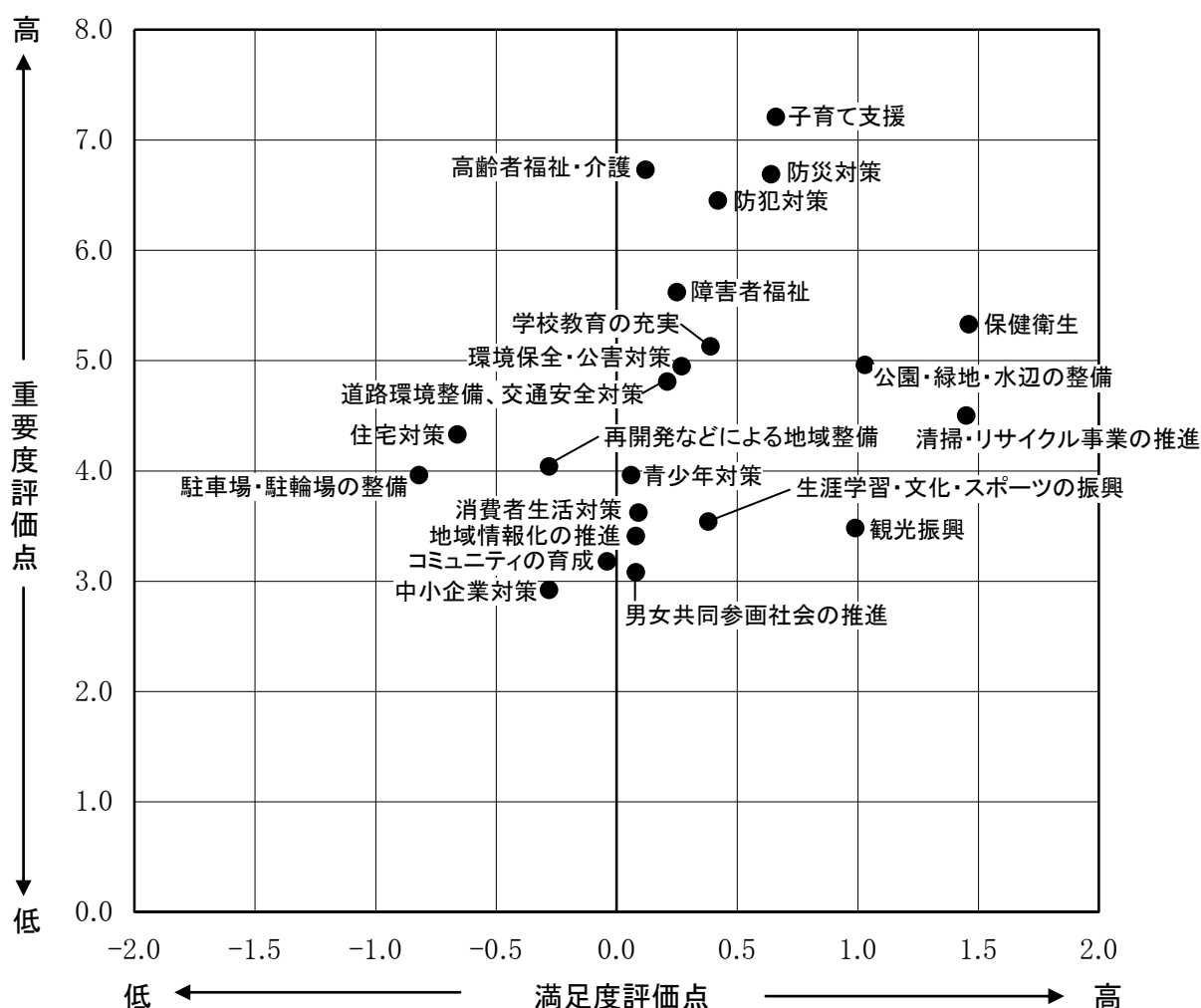
## ■ 区の施策の満足度と重要度の相関

次の図表は、加重平均値による満足度評価と重要度評価を相関させた散布図である。横軸が満足度評価点、縦軸が重要度評価点になっている。それぞれの算出方法は以下の通りである。

$$\begin{aligned} \text{満足度評価点} &= (\text{「満足」の回答者数} \times 10 \text{点} + \text{「やや満足」の回答者数} \times 5 \text{点} + \text{「普通」の回答者数} \\ &\quad \times 0 \text{点} + \text{「やや不満」の回答者数} \times \blacktriangle 5 \text{点} + \text{「不満」の回答者数} \times \blacktriangle 10 \text{点}) \\ &\quad \div (\text{回答者数} - \text{無回答者数}) \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{重要度評価点} &= (\text{「たいへん重要」の回答者数} \times 10 \text{点} + \text{「比較的重要」の回答者数} \times 5 \text{点} + \text{「普通」の} \\ &\quad \text{回答者数} \times 0 \text{点}) \div (\text{回答者数} - \text{無回答者数}) \end{aligned}$$

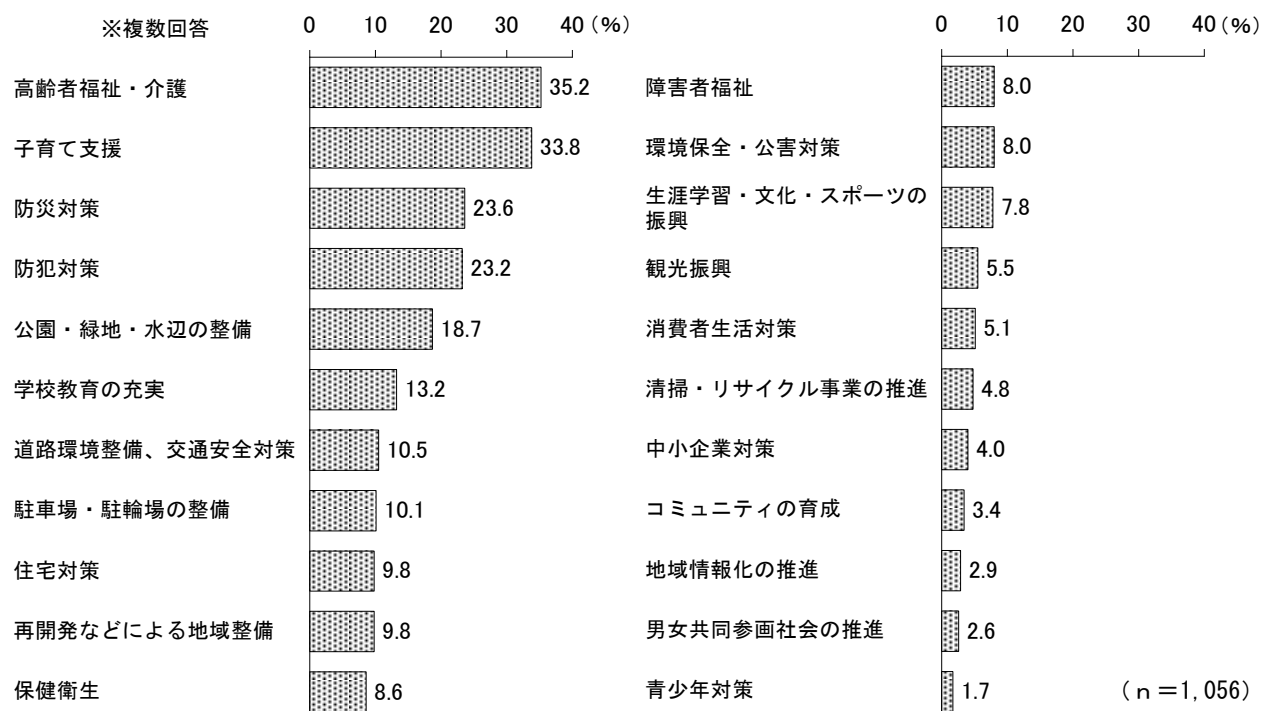
このグラフでは、満足度評価が低く、重要度評価が高い領域（左上方）にある項目が比較的住民ニーズが高いもので、今後の行政課題となるものと考えられる。



## ■ 区の施策への要望

「高齢者福祉・介護」(35.2%)が3割台半ばで最も高くなっている。次いで、「子育て支援」(33.8%)、「防災対策」(23.6%)、「防犯対策」(23.2%)、「公園・緑地・水辺の整備」(18.7%)などとなっている。

昨年の調査結果と比較すると、「防犯対策」は2.9ポイント、「保健衛生」は2.0ポイント、それぞれ増加している。一方、「公園・緑地・水辺の整備」と「環境保全・公害対策」はともに2.9ポイント、「障害者福祉」は2.6ポイント、それぞれ減少している。



### 第48回 中央区政世論調査

平成30年9月

発行 中央区企画部広報課  
中央区築地1丁目1番1号  
03(3546)5222(直通)

実施 株式会社エスピー研  
千代田区飯田橋3丁目11番20号  
03(3239)0071

刊行物登録番号  
30-048